


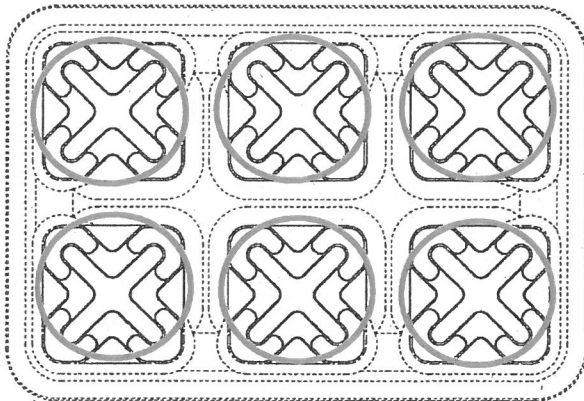
別紙

【本件部分意匠と被告製品との差異①】

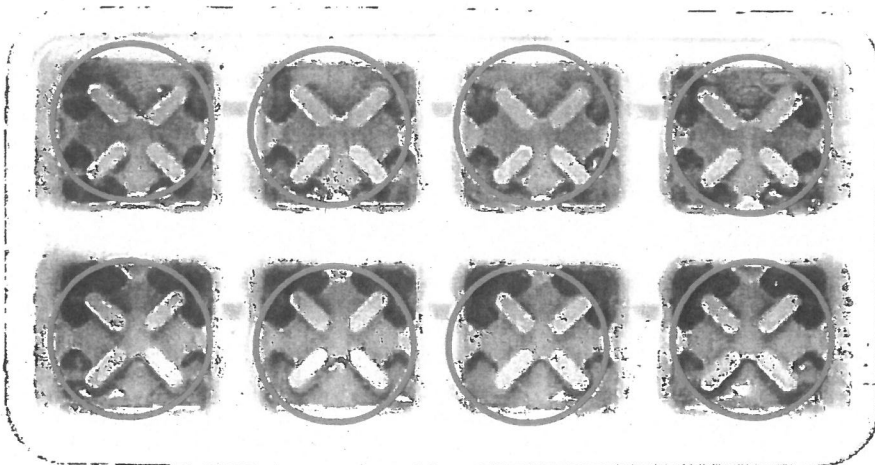
- (a) 本件部分意匠は、収容部中心に対角線上に設けられた角取りの長さが等しいX字の突条がある。  
被告製品は、被告製品には突条のX字構造がなく四つ足の五徳様の「」の形に突条が出ている。
- (b) 本件部分意匠は、収容部の四辺全ての各中央に設けられた凸部があり、個別の収容部が上下対称のデザインである。  
被告製品は、容器全体の長辺側8箇所にも凸部が設けられておらず、個別の収容部が上下対称のデザインでない。
- (c) 本件部分意匠は、収容部の四隅に突条を囲うように設けられた凹部（訴状にいう「ポケット部」）を計24箇所所有する。  
被告製品は、容器全体の中心側の2角に凹部があり（計16箇所）、容器全体の長辺側は大きい1箇所の凹部となっている（計8箇所）。
- (d) 本件部分意匠は、収容部を2行×3列の配置で全く同じ形状の収容部を6箇所にわたって並べた連続構造である。  
被告製品は、収容部を2行×4列の配置で収容部を8箇所にわたって並べた構造である。
- (e) 本件部分意匠は、収容部底面から立ち上がる面との接合部分（収容部の外側面並びに凹部と突条及び段部の立ち上がり部分）がそれぞれ直線的に折り曲げられている。

(a)の点の比較

↓ 本件部分意匠

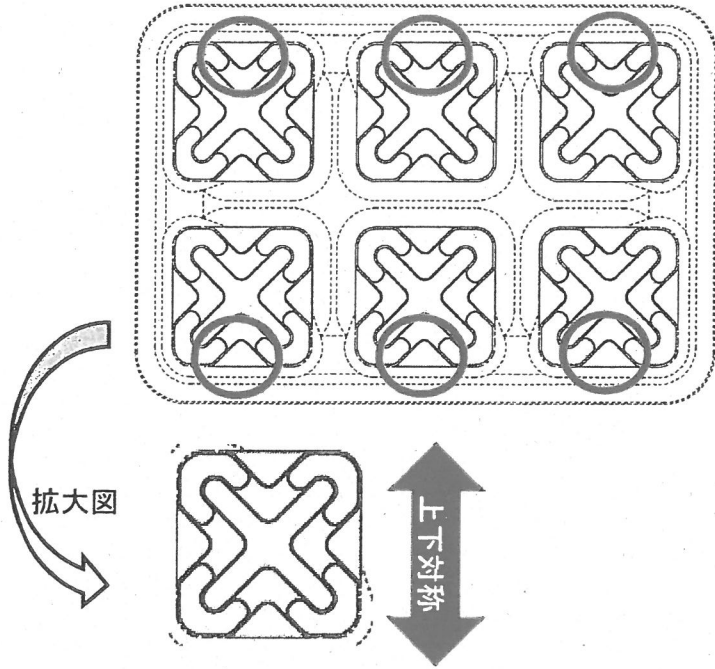


↓ 被告製品

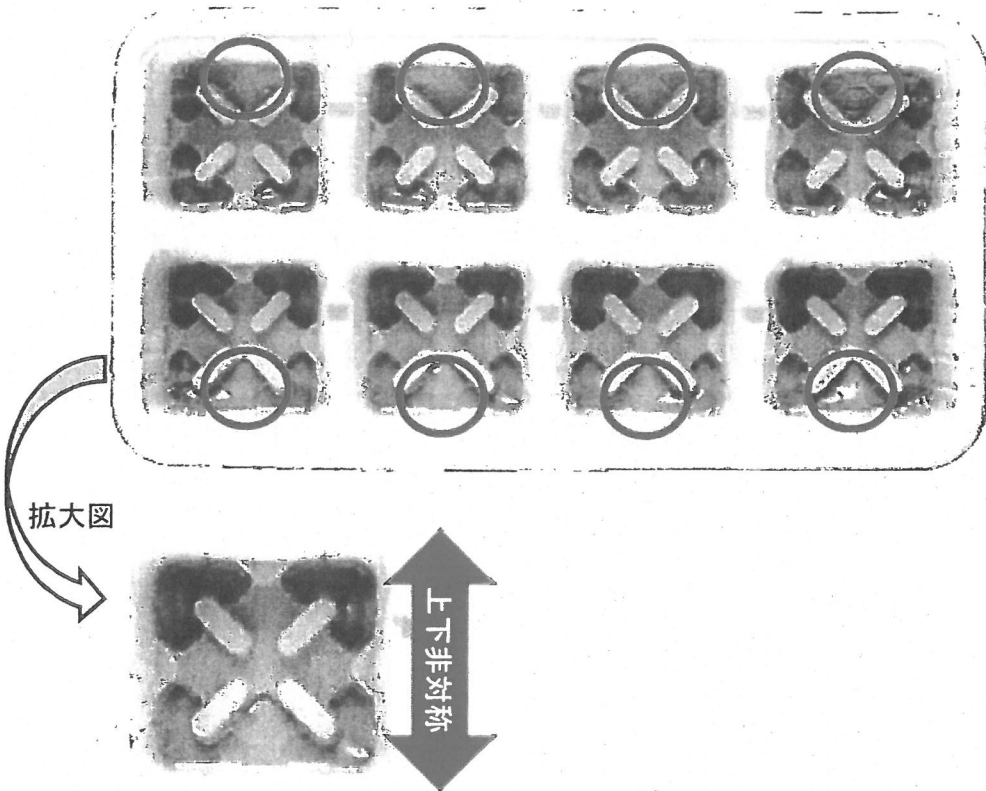


(b)の点の比較

↓ 本件部分意匠

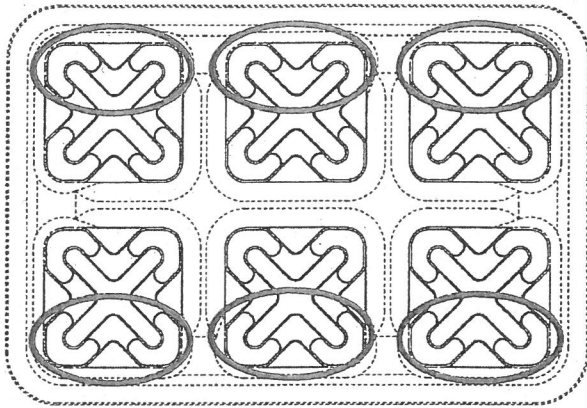


↓ 被告製品

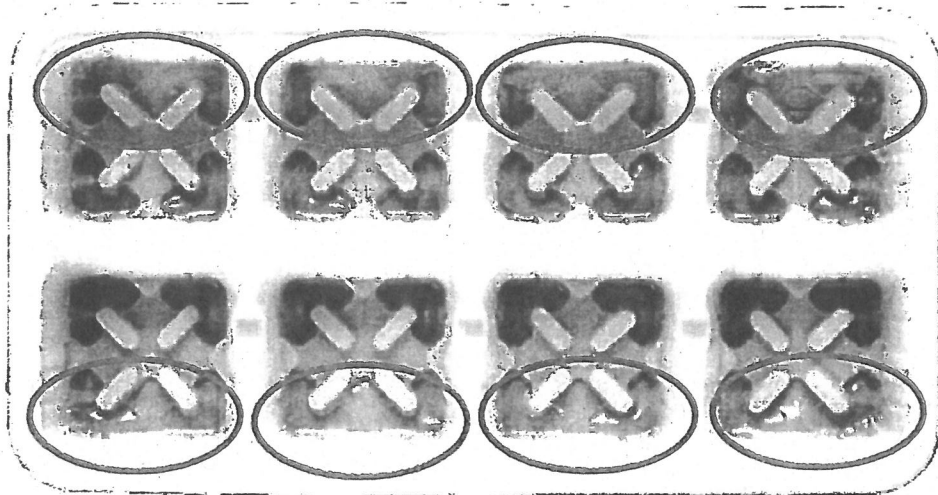


(c)の点の比較

↓ 本件部分意匠

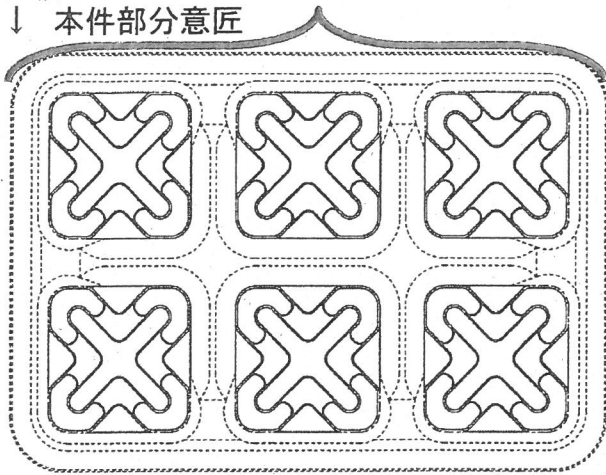


↓ 被告製品

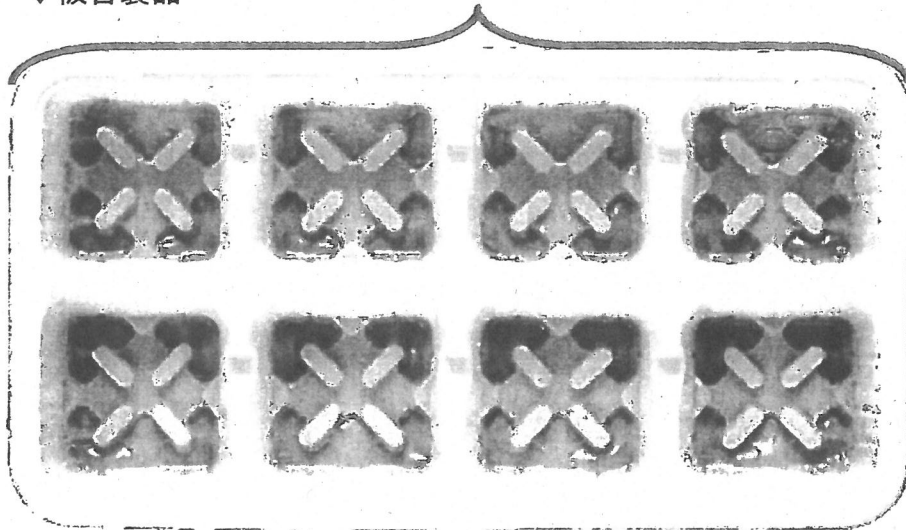


(d)の点の比較

↓ 本件部分意匠

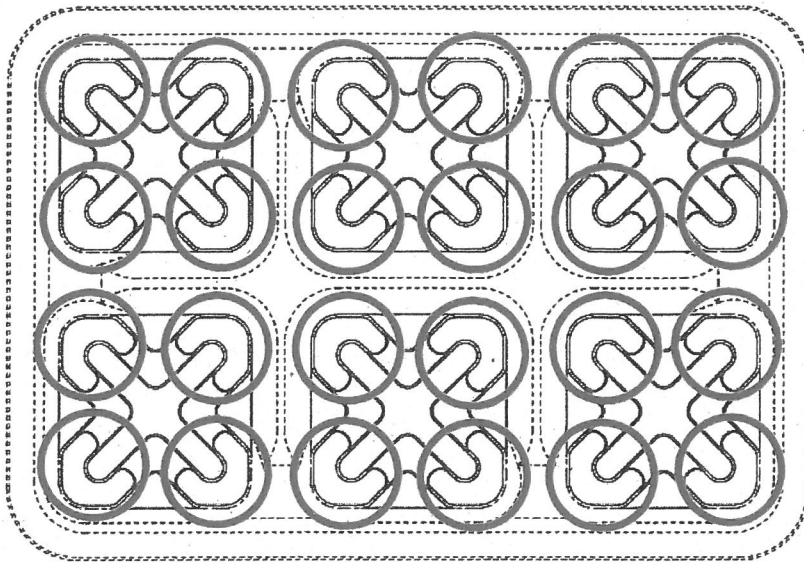


↓ 被告製品

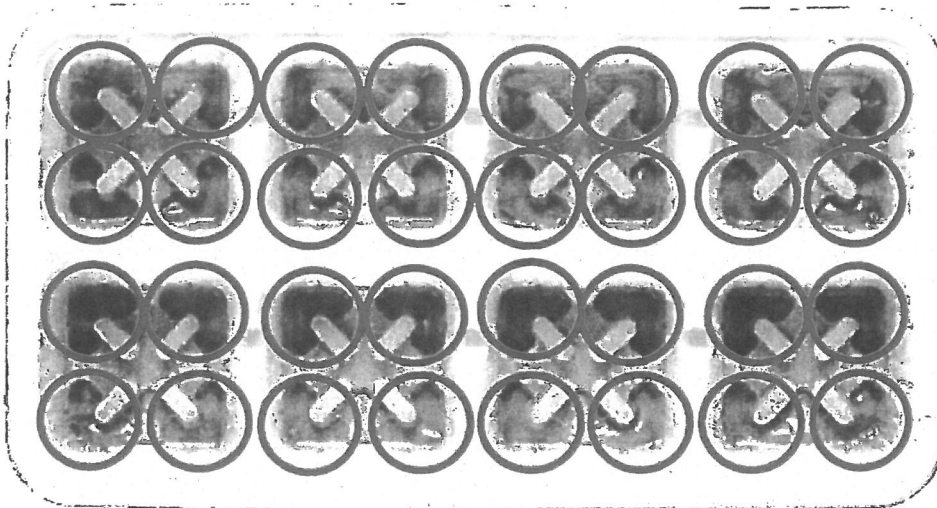


(e)の点の比較

↓ 本件部分意匠



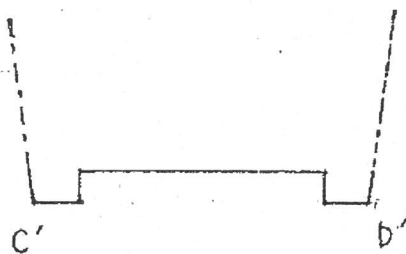
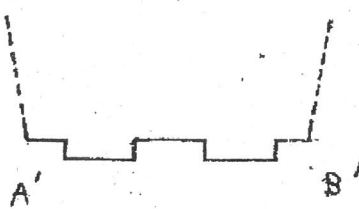
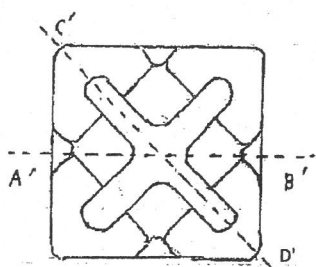
↓ 被告製品



別紙

【本件部分意匠と被告製品の差異②】

1) 本件部分意匠



2) 被告製品

